

令和8年



サシヨク かわら版

第858号

2026年10月13日発行

三多摩食糧卸協同組合

令和8年産米情報



令和8年産米の刈り遅れは、長雨の影響で頻発しており、品質の低下が懸念。

東日本では登熟不足や倒伏、水分過多が見込まれ、品質が低下する恐れ。また、米の出荷数量は減少しており、価格も上昇傾向。全体的には供給量に余裕があるものの、地域によって影響が異なるため、今後の収穫量や品質に注目が必要。

10月1日に開催された、業者間取引会の結果は、上場数量は4,537.50tで、前回比▲38.9%、前年同期比+30.7%と、新米出回り始期にあたるこの時期としては珍しく前回を下回った。原因は、明らかに新米、令和8年産米の刈り遅れで、実際8年産のみ上場数量を抜き出してみると、4,094.70t(前回比▲31.0%、前年同期比▲77.5%)と減少している。加重平均上場(売唱え)価格は、前回比+516円、前年比▲19,404円。令和8年産の刈り遅れを反映して前回よりは上回っている。

※8年産岩手ひとめぼれ前沢特裁

米穀成分分析値

アミロース 蛋白 水分 評価値

20.0 6.3 14.6 73

感想

- ・香りが強く、甘みを感じる。
- ・滑らかな舌触り。
- ・艶があり、さっぱりした食感。
- ・粒がしっかりしている。
- ・味がしっかりしている。

※8年産岩手ひとめぼれ水沢特裁

米穀成分分析値

アミロース 蛋白 水分 評価値

19.9 6.0 14.5 74

感想

- ・粒がしっかりしている。粘りがよわい。
- ・柔らかい感じ。味に甘味がある。
- ・艶あり、適度な粘りがある。
- ・粘りあり、米粒がやや小さめ。
- ・甘味あり、後味がさっぱり。

今週の玄米入荷情報

8年産

魚沼コシヒカリ

新潟コシヒカリ佐渡

福島中通コシヒカリ

福島中通ひとめぼれ

令和7年産水稲の品種別作付動向(割合) 米穀機構10月2日公表

上位3品種(コシヒカリ・ひとめぼれ・ヒノヒカリ)の作付割合は46.6%と前年から▲1.5pt。

上位10品種ではキヌヒカリ(10位→13位)が順位を下げ、つや姫(11位→10位)が順位を上げてランクインした。上位20品種ではにじのきらめき、にこまるがランクイン。高温耐性・良食味が特徴の品種がジワリ順位を上げてきた。なお、作付割合が最も下がったのはコシヒカリ。

順位	前年	品種名	作付割合	前年差(ポイント)	主要産地	順位	前年	品種名	作付割合	前年差(ポイント)	主要産地
1	1	コシヒカリ	31.4%	▲1.2	新潟、茨城、福島	11	15	とちぎの星	1.4%	+0.4	栃木
2	2	ひとめぼれ	8.5%	+0.1	宮城、岩手、福島	12	12	こしいぶき	1.4%	±0.0	新潟
3	3	ヒノヒカリ	6.7%	▲0.4	熊本、鹿児島、大分	13	10	キヌヒカリ	1.4%	▲0.2	滋賀、兵庫、京都
4	4	あきたこまち	6.5%	▲0.2	秋田、茨城、岩手	14	16	天のつぶ	1.2%	+0.2	福島
5	5	ななつぼし	3.5%	+0.1	北海道	15	14	あさひの夢	1.1%	+0.1	群馬、栃木、茨城
6	6	はえぬき	2.7%	±0.0	山形	16	13	夢つくし	1.1%	±0.0	福岡
7	7	まっしぐら	2.6%	+0.1	青森	17	17	ふさがね	1.1%	+0.2	千葉
8	9	きぬむすめ	1.9%	+0.1	北海道	18	19	あきさかり	0.7%	±0.0	広島、徳島、福井
9	8	ゆめびりか	1.7%	▲0.1	鳥根、岡山、鳥取	19	38	にじのきらめき	0.7%	-	茨城、群馬、静岡
10	11	つや姫	1.5%	±0.0	滋賀、兵庫、京都	20	25	にこまる	0.7%	-	長崎、岡山、静岡
上位10品種の合計			67.0%	▲1.6		上位20品種の合計			77.8%	▲0.9	

注) うるち米作付面積全体に占める割合。

※「期限付きおこめ券」の回収について

■国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を使った支援策として、自治体が配布した「期限付きおこめ券」です。

■回収期限

2026年9月30日までに商品と交換された使用済券「期限付きおこめ券」は、2026年11月30日までに、卸へお渡しください。

期限を過ぎた「期限付きおこめ券」の精算はできません。ご注意ください。

